

## 公益社団法人日本技術士会 CPD行事实施報告書

開始日時	平成27年1月24日(土)	14時30分
終了日時	平成27年1月24日(土)	16時00分
名称	第21回CPD新春講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉市ビジネス支援センター きぼーる 15階多目的室	
行事内容	挨拶(主催者側代表) 講演 「住環境を脅かす揮発性有機化合物(VOC)の発生メカニズムとその対策提案」 ー産業廃棄物の機械的処理により発生したVOCの実測例を中心にー 講師:津谷裕子氏 (NPO化学物質による大気汚染から健康を守る会(VOC研)茨城事業所・理事) 質疑応答	
参加人数	40名	

第21回CPD新春講演会は環境に関する講演会を開催した。

最近、従来の産廃の焼却等燃焼系起源の化学物質に加え、廃棄物の中間処理施設などでの圧縮、粉碎等によって発生する非燃焼系起源の揮発性化学物質(VOC)による大気汚染が発生している。しかし、これは有機溶剤のような大量生産物やPCBのような蓄積性有害物とは異なり、その危険性についての現状が認識されていないのが現状である。また、生活環境を襲うVOCの全貌が不明なので、適切な予防・診断・治療などの対策も困難である。講演では、千葉県内での事例も含め、その発生メカニズムから対策の提案について講演いただいた。

講演では冒頭に身近な原因調査結果として千葉県野田市における疫学調査、毒性に基づく独自質問、市民の観察、伝播の色々など興味深く伺った。

講演の最後に対策として「逆もまた真ならず」焼却も前処理もリサイクルも、それぞれに全貌把握の完全分析実施と変動汚染をモニターで常時記録が大事であることを強調された。

「欧米に学ぶ」として、EPA環境に広がる毒性物地質対策例、如何に希薄でも有害か、如何に拡大しているか、土木建築での発生例も、家具や医用機材からの発生例もあることなどを述べ講演を締めくくった。講師は高齢ながら長時間による講演も最後までしっかりした口調で分かり易く話していただいた。講演終了後、新年交流会で講師を囲んで多くの参加者が歓談した。

